

TEAM MYODEN



市川市立妙典中学校 令和4年度生徒指導だより第5号

10月31日

教育目標：未来を拓く妙典中生徒<明るく・正しく・美しく>

目指す生徒：◎ふれあいを大切にする生徒 ◎進んで学ぶ生徒 ◎頑張りぬく生徒

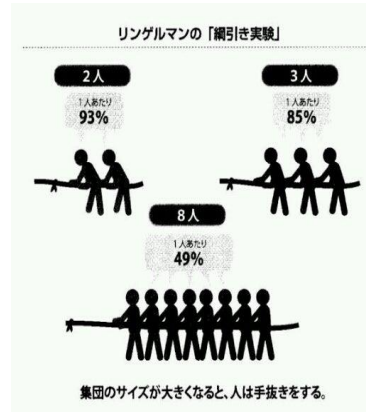
◎本当のチームワークとは

合唱祭ではクラスのチームワークの良さを発揮することができたでしょうか。賞にかかわらず、クラスの仲が深まったのであれば、大成功だと思います。

さて、日本が世界の中で評価されているのは、組織力、チームワーク、助け合いです。それは今後もずっと続けていかなければなりません、そこには負の副産物も生まれるそうです。

綱引きの原理 というものがあります。従来の綱引きとは違い、特別なマシンにつながれた綱を3人で引きます。初めに1人で引いてその数値を計ります。例えばそれが100キログラムだったとして、3人で引けば300キロになるはずですが、実はそうならず、もっと低い数値になるそうです。

ある社会心理学者の研究では、1人で綱を引いた時を100%として、2人で引くと93%に、3人で引くと85%、そして8人では49%まで数値が下がってしまったそうです。



同じような例で

<目の前に転んだ人がいた場合>

1人だったら……「大丈夫ですか？」と声をかけたり、助けたりしませんか？

集団でいたら……「他の人が行くだろう」という当事者意識のない思いが生まれませんか？

<係の仕事を行う場合>

1人だったら……自分しかないため、責任をもって最後まで仕事を行いませんか？

複数でいたら……他の人に大部分をやらせたり、任せきりになったりしませんか？

これは**無意識の手抜き**と言われ、人数が増えて責任が分散される結果、そうした現象が起きるのです。組織でこういうことが起きると大きな損失となってしまいます。

強いチームと言うのは複数でも100%の力を出せるチームです。合唱で培ったチームワークをこの後の生活にも生かしてほしいと思います。

～膝かけの使用について～

気温が低くなってきました。換気のために教室の窓を開けていることから、今年度もひざ掛けの使用を認めます。ただし、ジャージの上下を着用した上での使用が条件です。まずは暖かい服装を心がけましょう。

～校外での過ごし方、振る舞いについて～

「すれ違った人の顔を見て笑う」「注意をしたことに対して文句を言う、反論する」といった妙典中生がいるとのお電話を近隣の方からいただいています。学校でも指導していますがご家庭でも話題にし、一般的なマナー等について話し合ってみてください。

◎校則について考える会 ～防寒具について～

現行

・防寒のためのセーター、ベスト、カーディガン等を着用する場合は落ち着いた色（紺・黒・グレー）のものを着用し、派手な色やデザインのは避ける。襟は V ネックのものが望ましい。なお、着用に際しては、ブレザーの下に着るものとし、防寒具は袖や裾から見えないように着こなす。

・授業中等、セーターやカーディガン姿で生活は送らない。

・防寒コートについては落ち着いた色（紺・黒・グレー）のものとし、P コートやダッフルコートが望ましい。ジャンパーやベンチコートは禁止とする。

・マフラーや手袋、ストッキングは、標準服とつりあいのとれた落ち着いた色合いのものが望ましい。

改訂後

・防寒のためのセーター、ベスト、カーディガン等を着用する場合は落ち着いた色（紺・黒・グレー）のものを着用し、派手な色やデザインのは避ける。襟は V ネックのものが望ましい。なお、着用に際しては、ブレザーの下に着るものとし、防寒具は袖や裾から見えないように着こなす。

・授業中等、セーターやカーディガン姿で生活は送らない。

・防寒コート等は派手な色やデザインを避ける。

・マフラーや手袋、ストッキングは、標準服とつりあいのとれた落ち着いた色合いのものが望ましい。

防寒具について生徒会、評議委員と話し合いを行い、上記のように変更することになりました。昨年度の冬はジャージ登下校のため、部活動等で使用しているベンチコートやウィンドブレーカーを認めていました。

今年度は制服登下校となりますが、昨年度と同様、ブレザーの上にベンチコートやウィンドブレーカー、または家庭にあるジャンパーを着用することを認めます。ただし、際限がなくなってしまうため、派手な色やデザインのは避けるようにしましょう（色やデザインの判断に迷ったら、まずは担任の先生に相談しましょう）。